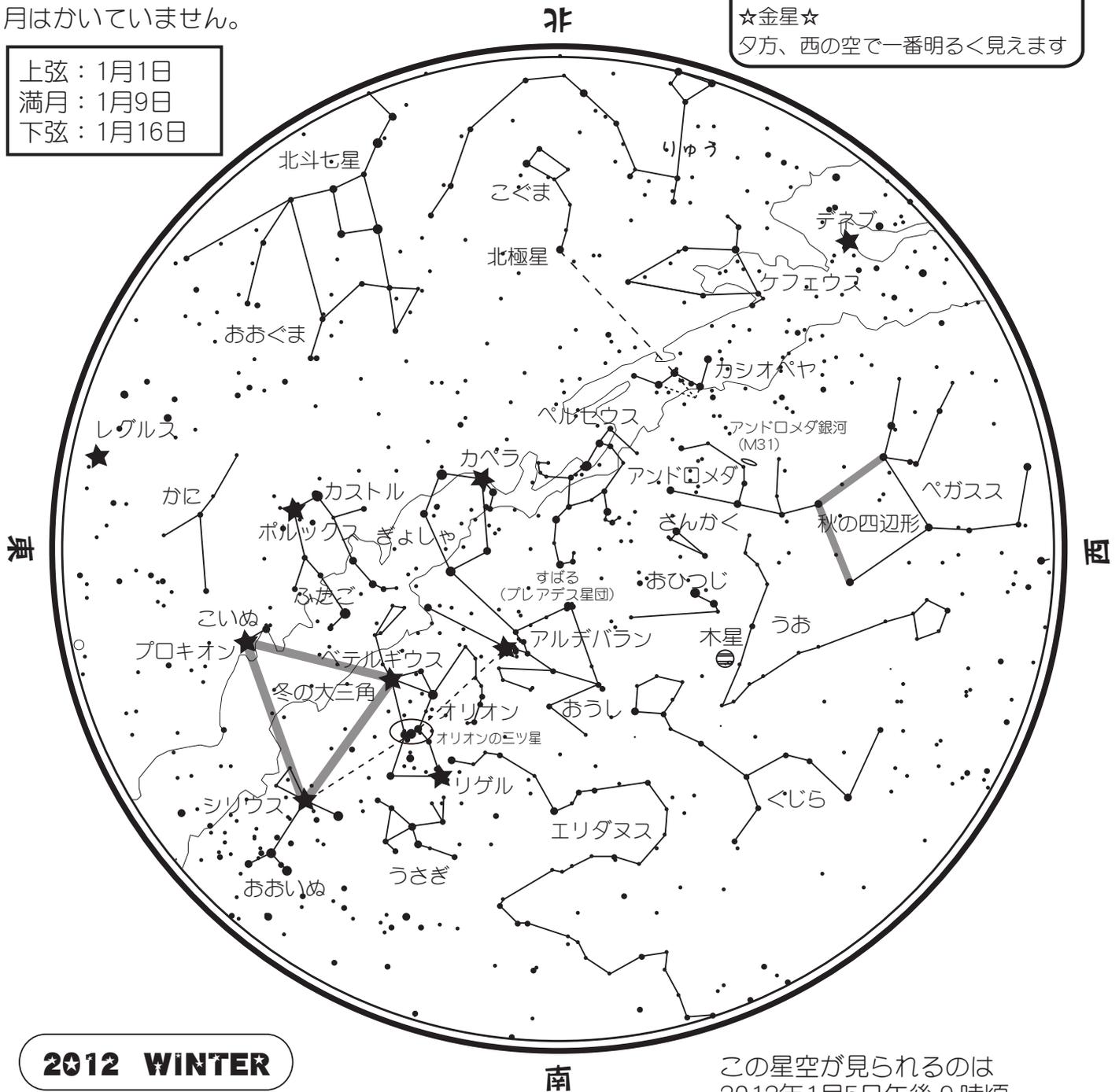


★ 姫路で見る1月前半の星空 ★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

☆木星☆
夜の8~9時ごろ南西の空で、一等星
よりも明るく見えます。
☆金星☆
夕方、西の空で一番明るく見えます

上弦：1月1日
満月：1月9日
下弦：1月16日



この星空が見られるのは
2012年1月5日午後9時頃
2012年1月20日午後8時頃です。

新年明けましておめでとうございます。今年は日食や金星の太陽面通過など、見逃せない天文イベントがたくさんある一年ですので、ぜひ空を眺めてみてくださいね。

南東の空には、リボンのような形の星の並びをしたオリオン座が見えます。真ん中にある3つの星の並びはオリオンの三ツ星と呼ばれ、3つの星を線をつないで天頂へと伸ばしていくと、おうし座の一等星アルデバランが見つかります。今度は地平線へと伸ばしていくと、全天で最も明るい一等星シリウスが見つかります。おおいて座のシリウス、オリオン座のベテルギウス、こいて座のプロキオンを結びと「冬の大三角」ができあがります。

また、天頂付近には美しい五角形と一等星のカペラが目じるしのぎょしゃ座が輝きます。そばに見えるふたご座は仲良し兄弟の星座で、二等星のカストルが兄、一等星のポルクスが弟です。

東の空の華やかさとは対照的に、西の空には秋の星座たちがひっそりと輝きます。ペガスス座の胴体部分である「秋の四辺形」を目じるしにして探してみましよう。

風邪を引かないように暖かい服装をして、美しい冬の星空を眺めてみてくださいね。